

好きです!! にしわき わたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる
一次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり—
教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

双葉小学校・幼稚園校舎棟が新しくなりました

市内全域から通学することができる小規模特認校・双葉小学校の校舎等を改築しましたので、新校舎の特徴をお伝えします。また、小規模特認校制度に関心をお持ちの方は、学校教育課または双葉小学校へお問い合わせください。

双葉小学校は、平成17年に体育館と音楽室、家庭科室を改築しました。今回は、老朽化の進行と耐震対策の観点から安全で安心な教育施設への改善のため校舎棟を改築し、11月10日(日)に竣工式を開催しました。

新校舎の特徴

新校舎は平屋建ての建物で、できる限り内装の木質化に努めています。また、オープンデッキを備えた開放的な空間として中庭を全面芝生化、太陽光発電を導入することで、環境教育の向上・環境負荷の軽減に努めています。

この新校舎により目指す学校は、「児童の個性を伸ばし、自然との共生、地域に開かれた山の学校」です。
小規模特認校制度について
双葉小学校は、平成19年度から「西脇市小規模特認校制度」を導入しています。この制度は、市内で特に自

然に恵まれた小規模校の活性化や複式学級の解消を図ることを目的に、特認校において教育を受けることを希望する児童に対し、通学区域に関係なく市内どこからでも就学を認める制度です。
新しくなった校舎で、これまで以上の「個に応じた教育活動」を展開していきます。双葉小学校では、次年度転入学を希望する児童を募集しています。校区外より通学する児童に対しては、学校の通学バスがあります。
双葉小学校への転入学の募集期間は次のとおりです。
○第1期
12月2日(月)～20日(金)
○第2期
1月8日(水)～24日(金)
◆問合せ
▽学校教育課
(市役所内線535・526)
▽双葉小学校
(☎22-8106)

第10回(最終回)男女共同参画川柳コンクール入賞者発表

男女がともに輝いて暮らせる社会を目指して、「暮らしの中の女と男」をテーマに男女共同参画川柳コンクールを実施。応募数は過去最多で、一般の部270句(145名)、小学6年生の部350句(230名)でした。
今回は、最終回ということ

で、さまざまな願いを込めて新たな賞「明日への一步賞」を加え、厳正な審査を経て次のような結果になりました。これからも、ひとへの思いやりに満ちた豊かな関係を大切にし、男女がともに輝いて暮らせる社会を目指していきたいですね。

〔一般の部(敬称略)〕
特選 共に行く互いの歩幅思いやり(種田淑子/明石市)
準特選 歳重ね二人で語る夢がある(丸山正人/加東市)
〃 稲穂刈る機上の妻へ茶をすすめ(笹原浩/多可町)
パートナー賞 赤い糸ほどよく結び五十年(藤井照夫/西脇市)
明日への一步賞 垣根越え自分らしさが歩き出す
(梶政幸/千葉県長生郡白子町)

〔小学6年生の部(敬称略)〕
特選 「大丈夫?」男女問わずにさし出す手
(斎藤美来/重春小)
準特選 おとこのこおまごとしていいんだよ
(森脇那萌/桜丘小)
〃 人間は十人十色おもしろい(長井一真/重春小)

男女共同参画川柳コンクール 入選作品展示スケジュール

・12/4(水)～12/10(火)
西脇市役所1階ロビー
※人権週間に合わせて掲示します。
・12/11(水)～12/20(金)
西脇市生涯学習まちづくりセンター(マナビータ・プラザ)1階ロビー
・12/21(土)～1/10(金)
北はりま旬菜館
・1/11(土)～1/31(金)
総合市民センターロビー
・2/1(土)～2/15(土)
旧来住家住宅(蔵)
・2/19(水)～3/7(金)
黒田庄地区コミュニティセンター
◆問合せ
生涯学習課(☎22-5996)

あぐいこうむ 64

自然の恵みを人から人へ

市では「西脇ファーマーズブランド」を通じて、市内産農産物の魅力向上、自然にやさしい安全・安心な農産物の生産拡大を進めます。
「半農半X」という生き方
はのりハムックス

「半農半X」をご存じですか。農のある暮らしをしながら、残りの半分は好きなことや仕事をする生活のことです。「半農半ライター」や「半農半歌手」、淡路島には「半農半芸(術家)」を目指した新規就農者がいます。
半農半Xの提唱者、京都府綾部市の塩見直紀さんは脱サラし、田畑を耕しつつ著作活



動や国内外で講演活動をされています。「農の部分では、自分と家族が食べられるだけの食があればいい。必要なものを満たす小さな暮らしをし、好きなことをして積極的に社会に関わる、そんな生き方・考え方を意味しています。」
このライフスタイルは、自ら栽培した安心できる食材の入手と個性を生かした仕事と

の両立や、みんなから必要とされる社会的な貢献という思想を持っています。そして「収入が少なくても心豊かな暮らしをしたい」という国内だけでなく海外からも共感を集め、特に20代～40代が関心を示しています。
農家以外でも市民農園や農家のお手伝いなどを介して自給的な農を生活に取り入れることは可能です。好きなことをしながら生活を組み立てたい方、得意なことを社会に役立てたい方、定年後の新しい生活を考えている方。いきいきとした暮らしに「半農半X」という生き方はいかがですか。

平成27年度から子ども・子育て支援新制度がスタートします

この制度は、社会保障と税の一体改革の一環で、消費税増収分の一部を財源とし、質の高い幼児期の教育・保育を一体的に提供する「認定こども園」の普及改善を行うなど、子育て支援の充実を図ります。すべての子どもに良質な育成環境を保障し、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる地域社会の実現を目指します。

【子ども・子育て支援新制度のポイント】

1. 質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供
2. 子育て相談や一時預かりの場の増設等、地域の子育て支援の充実
3. 地域の多様な保育ニーズへの対応

子ども・子育て会議を設置しました

市では、平成25年9月に「西脇市子ども・子育て会議条例」を制定しました。この会議では、子育て家庭の状況やニーズを把握し、実情を踏まえた「西脇市子ども・子育て支援事業計画」を平成26年度中に策定します。

—— ニーズ調査を実施 ——

子育て家庭における子育て支援の利用状況や利用希望などを把握し、平成27年度から5ヵ年の計画となる「西脇市子ども・子育て支援事業計画」の策定に役立てます。

対象者には、11月下旬にアンケート用紙を送付しますので、ご協力をお願いします。

◆問合せ 児童福祉課(市役所内線223)

【東京西脇多可の会入会者募集】

「東京西脇多可の会」は関東圏にお住まいの西脇市および多可町出身者・縁故者で構成される親睦の会で、懇親会などを通じて世代や職種を超え交流を深めています。

関東圏にお住まいの方や親戚、ご友人がおられましたら、下記事務局へご連絡ください。
会の概要

年会費2,000円/毎月広報紙を送付します。/その他交流事業を随時開催します。

◆問合せ 秘書広報課(市役所内線206)

—— 総会・懇親会を開催します ——

◆とき 平成26年1月24日(金)午後6時30分～◆ところ ホテル「ルポール麴町」(東京都千代田区)

西脇市消費生活センター ☎22-3111 (生活環境課内)

No.99 「告発通知」や「損害賠償請求」にご注意を

ケース① NPO法人を名乗る団体や弁護士などから、「違法わいせつDVDの購入者を告発する」という「告発通知」が届いた。
ケース② 「注文を受けた健康食品を発送前にキャンセルされたので、顧問弁護士から損害賠償請求する」と脅され、取り下げ費用として、宅配便で現金を送るよう要求された。
これらのケースは、「法的手段」や「告発」など不安をおおって、取り下げ料などを請求する、架空請求の手の一つです。現金は、郵便法により書留で送ることが義務づけられており、このように宅配便で送った場合、配送事故による保証はありません。また、万が一、現金を送ってしまうと、取り戻すことは極めて困難です。
全国で振込詐欺の被害が深刻化しており、被害件数は前年比5割、被害額は同7割の増加となっています(今年上半期集計、警察庁発表)。被害に遭わないために、このような不審な通知や請求に注意しましょう。